

模擬授業詳細

科目	英 語 (ペア)		
時間	12:20 ~ 12:50	担当	河村美希、POWERS 真理奈
場所	1号館 2階 51室	対象	児童 20名
タイトル	J1 ペア授業 リスニングとスピーキングの基礎固め		
内容	<p>中学部1年の英語の授業では、4月から5月にかけて、英語で言われたとおりに動作をすること、特注の発音記号カードを使用して、英語の個々の音とそれを含む単語を正確に聞き取り発音すること、そして英問英答の繰り返して、リスニングとスピーキングの基礎を固めていきます。教室内では日本語を使用せず、二人の教員による実演や、絵、実物を見て意味を提示します。</p> <p>模擬授業では、いくつかの簡単な動作と、日本人が区別しにくい母音二組と子音一組をとりあげ、また簡単な英答の練習もします。筆記用具は必要ありません。二人の先生が、やってみせる見本をしっかり見て聞いて、恥ずかしがらずに動作をし、口を大きく動かしてまねをしてください。自ら話そうとする態度こそ言語習得の基本です。</p>		

科目	英 語 (オーラル)		
時間	12:20 ~ 12:50	担当	Sassy MA'AT
場所	1号館 2階 45室	対象	児童 15~20名
タイトル	J3 オーラル		
内容	<p>In this lesson, participants will learn vocabulary and sentence structures used to describe human physical characteristics, including hair, height, and facial features. After learning together as a class, participants will work in small groups to practice their English communication skills.</p> <p>(ヘアスタイル、顔の表情、体の特徴などを説明する単語、表現について学び、小グループそれらの表現を使って会話をする練習をします。中学部3年で学習する内容を初心者でも理解できる英語で授業を行います。)</p>		

科目	物 理		
時間	12:20 ~ 12:50	担当	大崎 裕生
場所	1号館 2階 44室	対象	児童 30名
タイトル	音を楽しもう～ノイズキャンセリングのしくみ		
内容	<p>私たちが耳にしている「音」は、実は空気中を伝わる波です。私たちは、音の性質について、日頃はあまり意識することがないかもしれませんが。しかし、ちょっと注意してみると、いろいろなおもしろい現象がかくれています。この模擬授業で音の性質を体感して、音のおもしろさにふれてみてください。きっと、音に対する見方がかわりますよ。</p>		

科目	化 学		
時間	12:20 ~ 12:50	担当	池田 育浩
場所	1号館 2階 48室	対象	児童・保護者 20組 40名
タイトル	<p>実験と演習を組み合わせた化学の理解の深め方 ～化学実験・演習授業の実践報告～</p>		
内容	<p>化学実験では、“不思議な現象”を目の当たりにすることができます。そんな“不思議な現象”は、見るだけでも充分楽しいものですが、「なぜそんなことが起こるのだろう？」と考え、学ぶことで、より深く「楽しい!」と感じられるようになるものです。</p> <p>神戸女学院中高部では、学んだ知識を運用し、思考する力を養うことで、「学んだ知識で、こんなことまでわかる・考えられる!」ということを実感できるように実験・演習の授業に取り組んでいます。今回の模擬授業では、「塗ると色が消える『スティックのり』の秘密」、「目が光を感じる仕組み!」、「身の回りの『光る』物質」、「みかんの皮に含まれる驚異の成分!」、「蛍光ペンの作り方!」など、身近な現象も含めて、普段の授業でどのような実験に取り組む、どのような演習を通して理解を深めるのかをお話します (内容は変更になる可能性があります。また、以前の実験内容と重複する場合があります)</p>		

科目	国 語		
時間	12:20 ~ 12:50	担当	山本 圭一
場所	1号館 2階 49室	対象	児童・保護者 20組 40名
タイトル	詩を通して伝えたいこと ～「はる」(谷川俊太郎)を中心に～		
内容	<p>今回の授業では、谷川俊太郎の詩「はる」を通して、詩をよむ楽しさと、詩や文学全般を読む上でのヒント・心がまえについて考えます。授業では主に中学1年の第1時に、中高国語の授業の導入として行っている内容の一部です。神戸女学院中高部キャンパス見学会に足を運んでくださった皆さんにとって、詩とのよき出会いのひとつとなれば幸いです。</p> <p>(これまでのキャンパス見学会における模擬授業の内容を中心に、再構成した内容です。)</p>		